

# 開町123年記念式典

戦没者・開拓物故功労者・消防殉職者追悼式



△開町記念式

▽追悼式



6月20日(木)、平成25年戦没者・開拓物故功労者・消防殉職者追悼式と、開町123年記念式典が菊水公園で開催され、269人が参列しました。

式典には、奈良県から松谷幸和副知事、十津川村から更谷慈禧村長や松實豊隆議会議長が参列し、厳粛な雰囲気の中で執り行われました。

特別功労表彰受賞者

寺田 隆政

(敬称略)

功労表彰受賞者

自治振興

松葉 孝文

(敬称略)

善行表彰受賞者

岡下 勇

(敬称略)

感謝状贈呈者

永住表彰

(敬称略)

大井 敏恵

岩井美喜子

南 勝重

羽下久太郎

川崎 キン

加藤 トヨ

千葉 義隆

後木 元一

須藤 勇男

和歌千江子

政所 功

銅谷まつ江

林 一幸

荒山美恵子

松尾サカエ

岩崎きみ子

十河 夏枝

中川 稔

河村 孝雄

北村キヨ子

乗松ツヤ子

工藤富士衛

田岡 コヨ

高倉 はる

高額寄付者

(敬称略)

谷口 次雄

乗松 政勝

岡 嘉代子

山本 忍

橘 昭夫



①式辞を述べる植田町長②祝辞を述べる松谷奈良県副知事③祝辞を述べる更谷村長④式典を締めくくる万歳三唱⑤告諭を読誦する佐川副町長⑥お礼のあいさつ長谷川議長⑦特別功労表彰を受賞された寺田隆政さん

## 新十津川開拓史

明治22年8月、十津川郷を大水害が襲いました。

生活の基盤を失った住民たちは、新たな生活地を求め、北海道への移住を決断しました。



▲奈良県吉野郡一帯を嵐が襲う

11月、空知太に到着した移民は、新しい村の名前を「新十津川」と決め、翌年6月、トック原野に最初の一步を踏み入れました。



▲厳しい自然が立ちふさがる

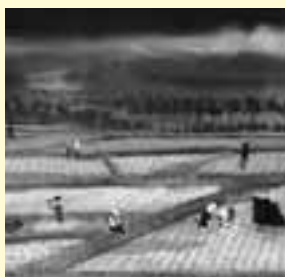
大木が生い茂り、厳しい自然が立ちふさがる中、十津川移民はトック原野の開墾を進めました。

明治30年代には、水稲の作付けが本格化し、大正期に入ると、冷害に強い水稲品種を開発し、道内でも有数の米作地帯になりました。



▲開墾に励む村人

### ▼米作が始まる



村民たちは、冷害、凶作、戦争という厳しい時代を、助け合い乗り越えていきました。

戦争終結と共に、息を吹き返した新十津川は、昭和32年1月、念願の町制施行を実現しました。めまぐるしい時代の変化に揺れながらも、新十津川は未来に向かって着実に歩み続けています。

(絵・井上正治さん)